



児童と一緒に稲刈り

「とことん訪問」で上田知事

県内各地で現場の声に耳を傾ける「とことん訪問」として、上田清司知事は11日、日高市や三芳町など5市町の企業や学校を訪ね、意見交換を行った。午後にはいわゆる「学校ファーム」に15年前から取り組んでいる志木市立宗岡第二小学校（久保昇校長）を訪れ、児童と一緒に

宗岡第二小学校の児童らと稲刈り体験をする

上田知事（左） 志木市内

に稲刈りを体験した。

同校は河川敷に1000平方メートルの水田を借り、1994年度から農業体験を行っている。同日は5年生の児童ら約100人が金色の穂をつけたイネをかま刈った。駆け付けた知事もジャージ、長靴姿で約30分間、収穫作業を行った。はしやぐ子どもたちを見て知事は「みんな楽しそう。バッターやカエルもいるし、何よりもいつも食べているコメのことを学ぶのが大事」と話した。同日はそのほか飯能市の「協同組合フォレスト西川阿須工場」や富士見市の水谷東小学校自主防災連絡会などを訪れた。（小出菜津子）